

## 千葉県クラブラグビーフットボール選手権大会 実施要項

- 1 名称： 第35回千葉県クラブラグビーフットボール選手権大会  
兼 第34回東日本クラブ選手権大会予選
- 2 主催： 千葉県ラグビーフットボール協会
- 3 日程： 2024年5月～6月(以下参照)
- 4 会場： 日本製鐵君津(5/19)、ブリオベッカ浦安(6/2)、市原ちはら台公園(6/23)
- 5 参加チーム： NPO千葉バーバリアンズ、浦安ビアーズ、NBS 茜浜フェローズ (昨年の順位順)  
※参加資格： 2024年4月15日現在、千葉県ラグビーフットボール協会にチーム登録されているクラブ登録チームとする。コンバインドチームでの出場をする場合には幹事チームを決めること。クラブ登録チームがコンバインドチームを編成して出場する場合は、千葉県ラグビーフットボール協会に登録されたクラブ登録チーム、社会人登録チーム及び大学登録チームとのコンバインドを可とする。ただし、特に大会実行委員会において認められたチームはこの限りではない。全参加チームは2024年度時点において継続して登録されていること。
- 6 選手資格
  - (1) 本大会の選手資格は、財団法人日本ラグビーフットボール協会「日本協会規程」、及び、その他の施行細則に抵触しない者とする他、以下の特則に服する。
  - (2) 選手は、満18才以上の者のとし、高等学校在学中(定時制を含む)の者の参加は認めない。
  - (3) **2024年5月2日**までに日本ラグビーフットボール協会「競技者個人登録」をした者に限る。
  - (4) 本大会に選手登録された者は、前項の登録期限に関らず、移籍して他のチームから、本年度の全国大会(大学・社会人・クラブ等全てのジャンルを含む)につながる都道府県大会ないし地域大会に選手登録することはできない。
  - (5) クラブ大会と全国社会人大会及びその地区予選大会の双方へ出場するクラブにあっては、出場選手はそれぞれ区分して選手登録されなければならない。同一選手が両方の大会へ出場することはできない。例外として、大会申し込み時に事前に申請されている場合は、両方の大会へ選手登録される場合でも本大会への出場を認める。但し、その場合の所属チームは上位大会である東日本大会への出場推薦対象から除外する。
  - (6) 他のチームとの二重登録は認めない。
  - (7) 財団法人・スポーツ安全協会の「スポーツ安全保険」に加入していること。
  - (8) その他、選手資格に疑義がある場合には、大会実行委員会において裁定する。
- 7 参加料
  - (1) **30,000円**
  - (2) 振込先 千葉銀行 稲毛支店  
普通4485501  
千葉県ラグビーフットボール協会クラブ委員会  
注) 振込時には、必ずチーム名を記入すること。
- 8 競技方法： 3チームによるリーグ戦とする。

## 9 競技規則

- (1) WR 規定の競技規則（2024）による。
- (2) 試合時間は、原則として40分ハーフとする。（本大会のハーフタイムは12分以内とする）
- (3) リーグ戦は勝ち点制を採用する。全試合終了時点で、勝ち点の多い順に順位を決定する。
  - ① 各試合の勝ち点は、勝ち4点、引き分け2点、負け0点とする。  
（但し、不戦試合が発生した場合不戦勝のチームに勝ち点5を与える）
  - ②また、ボーナス点として以下の勝ち点を与える。
    - i 負けても7点差以内ならば、勝ち点1を追加。
    - ii 勝敗に関係なく、3トライ差以上獲得したチームに、勝ち点1を追加。
  - ③全試合終了時点での勝ち点と同じ場合、次の各号の順序により順位を決定する。
    - i リーグ戦全試合の得失点差の多いチームから上位とする。  
（但し、不戦試合が発生したリーグについては不戦敗のチームに関わる試合を除いた全試合）
    - ii 当該チーム同士の試合で、勝ち点の多いチームを上位とする。
    - iii 当該チーム同士の得失点差の多いチームから上位とする。
    - iv リーグ戦全試合の総トライ数が多いチームを上位とする（ただし、不戦勝などの理由で対象試合数が少ない場合はトライ数を総試合に換算して比較する）。
    - v リーグ戦全試合のトライ後のゴール数が多いチームを上位とする。
    - vi 当該チームで抽選を実施。
  - ④規約に定めのない事項については、大会実行委員会が裁定する。
- (4) 試合中ノンコンテストスクラムが発生した場合、勝敗は得点どおりとする。
- (5) キックオフまでに試合に出場できる状態の選手15人が揃わない場合は、当該チームを不戦敗とする。
- (6) 出場登録した選手は、当該チームがプレマッチにて指定したドレスチェックの時間に、ドレスチェックを受けること。基準時間（ドレスチェック開始時間）から遅れた分の時間は、試合に参加することができない。  
\*ドレスチェックはキックオフ30分前までに設定し終了すること。

## 10 罰 則

- (1) 参加資格を偽った場合、選手資格のない者が出場した場合には、その時点で失格とする。事実発生の際の相手方チームを勝者とし、それ以前のものには触れない。
- (2) 参加チームは、自チームの応援団の行為についても責任を負うものとする。
- (3) 「不戦敗」のチーム及び「棄権」したチームの処分、その他本大会で生じた不規律に関しては、チームに告知聴聞の機会を与えた上で大会実行委員会に於いて処分を決定する。

## 11 表 彰

優勝チームには優勝杯と賞状を、準優勝チームには賞状を、それぞれ授与する。

本大会での成績を基に第34回東日本クラブ選手権大会の千葉県代表チームを選定推薦する。

但し、今年度において東日本トップクラブリーグ所属チーム及びコンバインドチームは東日本クラブ選手権大会への推薦対象から除外する。

## 12 大会説明会

本大会への出場希望チームは、大会実行委員会が開催する「大会説明会」に出席すること。大会説明会に出席しないチームは、大会参加申し込みを認めない。（2024年4月7日開催予定）

## 13 申込み方法

別ファイル 2024年度クラブ選手権大会＜参加申込書＞をご確認ください。

## 大会参加にあたっての留意事項

本大会は、東日本大会そして全国大会につながる県予選として上位の大会と共通の規則にのっとり実施されております。全国につながる公式戦としての重要さを認識頂いたうえでのご参加をお願い致します。

出場チームにおかれましては、競技の側面ばかりでなく、全国のクラブの模範となるようなマナー、エチケットの遵守を今後もぜひ実施して頂きたいと思っております。

### 1. ラグビー協会「競技者個人登録」＝ 二重登録の排除

- (1) 競技者個人登録ができるのは、日本ラグビーフットボール協会新登録管理システムにより、一つのチームからだけであり、複数のチームから、個人登録できない（二重登録の排除）。
- (2) 年度途中、何らかの事情（転勤等）で別のチームに所属することになった場合には、前チームの競技者個人登録を抹消し、後チームで新たに競技者個人登録する手続きが必要である。（競技者個人登録の移動）。
- (3) 新規に競技者個人登録する場合には、本人に登録制度を十分に理解させた上で登録手続きを行うこと。特に来日早々の外国人選手や新卒者（高校ないし大学）には、必ず本人の入会の意思を充分確認してから登録すること。会社や学校のチームと二重登録できない旨を充分熟知させた上で登録すること。
- (4) 二重登録で選手登録が抹消された場合、その補充はできない。

### 2. 大会ごとの「公式大会選手登録」＝ 1個人・1年度・1登録

各チームで競技者個人登録された者の中から、大会ごとに「公式大会選手登録」を行う。この際には二重登録の排除とともに、「1個人・1年度・1登録」の原則が適用される。公式大会へは、その年度中はどこか一つのチームからしか公式大会選手登録はできない。すなわち、本大会で選手登録されれば、令和6年度の公式大会は、他のいかなるチームからも選手登録できない。

### 3. 出場選手が揃わない場合

キックオフ時に、出場選手15人が揃わないチームは「不戦敗」とする。

### 4. ドレスチェックの実施

出場登録選手23名は必ずドレスチェックを受けなければならない。ドレスチェックを受けなかった選手は、試合への出場は認められない。

ドレスチェック時には<登録カード>を使用して、出場選手の確認を行うため、出場選手は必ず携帯すること。ドレスチェック時に不在の選手については、基準時間（ドレスチェック開始時間）から遅れた分の時間は、試合に参加することができない。

選手の安全確保の観点から、ドレスチェック時に不在の選手は、リザーブにするのが好ましい。

ドレスチェック開始時間（基準時間）は、キックオフ30分前とする。

なお、基準時間については、試合を行う両チームとも同じ時間とする。

## 諸注意

### 1 試合方法

- (1) 試合ごとの登録選手は、最大23人とする。  
但し、プロップが可能な選手の人数により最大の登録人数の制限がある。

フロント可の人数	登録できる選手の人数
3名	17名
4名	18名
5名	22名
6名	23名
- (2) プレマッチミーティング時(キックオフ80分前)に、メンバー表を本部へ提出すること。
- (3) タッチジャッジを行う有資格のレフリー1人とセーフティアシスタントを用意すること。  
セーフティアシスタントは、かならず認定証を持参し職務を務めること。  
タッチジャッジはできる限りレフリー資格を持った者が務めること。
- (4) 試合は、可能な限りスリーボール制で実施する。各チームからボールボーイを出すこと。
- (5) 組合せ決定時に当番チームを決め、当番チームはその試合のホームチームとして役割を行う。
- (6) 試合終了後、各チームの記録員はレフリーとの内容確認を済ませた上で試合記録用紙を本部席まで提出すること。

### 2 競技に関して

- (1) **キックオフ80分前**に、両チームの①主将、②タッチジャッジ、③セーフティアシスタント、④ボールボーイ(3名以内)、⑤給水係(3名以内)、⑥記録員は、本部席に集合すること。競技委員とレフリーを交えて最終打ち合わせ及びトスを行う。
- (8) ハーフタイムの休憩時間は12分以内とし、その間チームはグラウンドを離れることができる。
- (9) ハーフタイムの時、フィールドオブプレーに入ることの出来るのは、そのチームの監督もしくはコーチなど1名とセーフティアシスタント・給水係のみとする。
- (10) セカンドジャージを持つことは公式大会に臨むチームとしての常識であり必ず用意すること。

### 3 安全対策、脳震蕩の報告義務

- (1) 大会参加に当たっては、あらかじめ健康診断を受診する等、プレイヤーの健康管理には充分配慮すること。特に、過去に脳震蕩を起こしたことのある者は、必ず脳波検査、CT等の検査を受診させること。
- (2) 各チームは、セーフティアシスタントの有資格者を必ず用意すること。
- (3) グラウンドで明らかな頭部打撲を認め、その受傷時に応答(意識状態)の異常あるいは、身体活動の異常が認められるものは、すべて競技規則にいう「脳しんとう」に該当するものと考えて退場させる。試合中に脳震蕩で退場したプレイヤーが出た場合には、チーム責任者は所定の用紙によって報告の義務がある。
- (4) 試合終了後、怪我の有無にかかわらず、「傷害事故報告書」を提出すること。
- (5) 試合中に発生した負傷等の医療費については、各自及び各チームの負担とする。
- (6) チーム登録メンバーのうち一名は、通年受講可能なオンラインで安全インテグリティ推進講習会を受講し、千葉県協会事務局で一括登録されなければならない。
- (7) 日本協会新登録システムによるチーム登録手続きの際、必須である JRFU コーチ登録番号を必ず記入すること。

#### 4 ホームチームの役割

- (1) 試合2日前までに、両チームで連絡を取り合い、さらに、レフリーへの確認の連絡を入れること。確認事項は、①期日、②キックオフ時分、③場所、④両チームのジャージの色、等々である。特に、ジャージの確認は忘れずに行い、同系色の場合には話し合いによりセカンドジャージに切り替えること。変更の場合はその旨レフリーにも伝えること。
- (2) ハーフタイムに、レフリーへ水、その他を持っていくこと。その他、交歓会等、当該試合全般に関し、責任を持って運営すること。

#### 5 グランドの設営

- (1) 試合当日、第一試合を予定している双方のチームは、試合開始2時間前には集合し、グラウンドのライン、フラッグ等の設営を行うこと。
- (2) 試合当日の最終試合を行った双方のチームはグラウンドの整備、片付けを行なうこと。

#### 6 大会運営委員の選出

本大会に参加するチームは自チームより専任の大会運営委員2名を選出し大会申し込み時に申告する。大会運営委員は大会運営委員会を組織し、準備も含めた大会期間中の大会および競技運営に積極的に参画すること。

#### 7 大会運営委員会申合せ事項

- (1) サポーター類については、千葉県大会においては「白色および黒色」であればいずれのパンツにも使用できることとする。（但し、東日本大会出場時には東日本大会の規定を確認した上で正しく対処すること）
- (2) 出場選手については、**80分前**のプレマッチミーティングにおいて提出された23名のメンバーの変更はできない。
- (3) 選手の交替、入替については競技規則第3条に準じて対応することとする。
- (4) シン・ビン、退場（競技規則第3条、第9条参照）
  - A シン・ビン（一時退場）となったプレイヤーはハーフウェイライン付近の所定の場所に位置しなければならない。レフリーが許可するまで、フィールド・オブ・プレイに入ってはならない。その間、チーム関係者と接触してはならない。
  - B シン・ビンの時間は「10分間」とし、ハーフタイムの時間は含まれない。
  - C 本大会において累積2回目のシン・ビンが適用された選手はそのまま退場となり、ゲームに再出場することはできない。また、次の1試合は自動的に出場停止となる。
  - D 同一試合で2度目のシン・ビンを受けた選手はそのまま退場となり、ゲームに再出場することはできない。また、次の1試合は自動的に出場停止となる。
  - E フロントローの一人が退場もしくはシン・ビンとなった場合、当該チームの指名された全ての選手の中にフロントローがいなくなれば、レフリーはアンコンテストスクラムを命ずる。この場合、交替するフロントローが訓練されて適切であるかを判断し、またいるかどうかを決定するのはレフリーの責任においてではなく、そのチームの責任においてである。
  - F 入替で退場した選手であってもフロントローとしてそのポジションのスクラムが組める人が他になくなった場合には、一時的交替で再出場することができる。
  - G シン・ビンで一時退出していた選手が戻ってきた時点で、一時的交替のフロントロー選手とその交替した選手は、元に戻る。（この一時的交替は、入替には数えない）

## 8. プレーヤーの服装

試合前に競技役員及びレフリーによる服装の点検（ドレスチェック）を受けること。  
プレーヤーの服装については【競技規則第4条「プレーヤーの服装」】による。

### (1) ストッキング

試合中ストッキングがずり落ちないように、選手は十分に注意すること。

### (2) ジャージ・パンツ

パンツの上に出たジャージは常に注意してパンツの中に入れること。またジャージの襟を内側に折り入れないこと。

破損や出血に備えて替えのジャージ、パンツ等を準備しておくこと。（無番号で可）

### (3) サポーター類

ヘッドキャップ・ショルダーサポーター類を使用する場合には、IRB の承認を受けたものにする。

### (4) アンダーウェア類

アンダーウェアの色は以下の規定のいずれかとする。

- ① ジャージのそで部分と同色の色
- ② 紺色もしくは黒色・白色の単色

スパッツは膝下までのものを使用可能とし、色については以下のとおりとする。

- ① パンツと同色の単色
- ② 紺色もしくは黒色・白色の単色

## 9. アフターマッチファンクション（交歓会）

チーム全員（サポート含）、レフリー、運営スタッフが試合終了5分後、本部テント前にて両チームはMOM(マン・オブ・ザ・マッチ)を選出するため記念品を用意のこと

## 10. 表彰式は6月23日（第3節）のちはら台グラウンド内にて行う

当日の試合を行うチーム及び表彰対象チームは必ず出席すること。但し当日試合の無い場合は大会サポートメンバーのみでも可とする